

製造業の実態及び 次世代産業への進出に関する調査結果

当所の製造業支援に活用するとともに、関連する施策の周知を行うことを目的に、ものづくりのまちを支える製造業の実態及び次世代産業への取り組み状況について調査しました。本号では主な調査結果をお知らせします。

調査概要

- 調査対象
姫路商工会議所・姫路市商工会の会員事業所
- 調査期間
2024年2月2日～2024年2月22日
- 回答状況

発送数	回答数	回答率
1,040事業所	247事業所	23.8%

規模別構成比

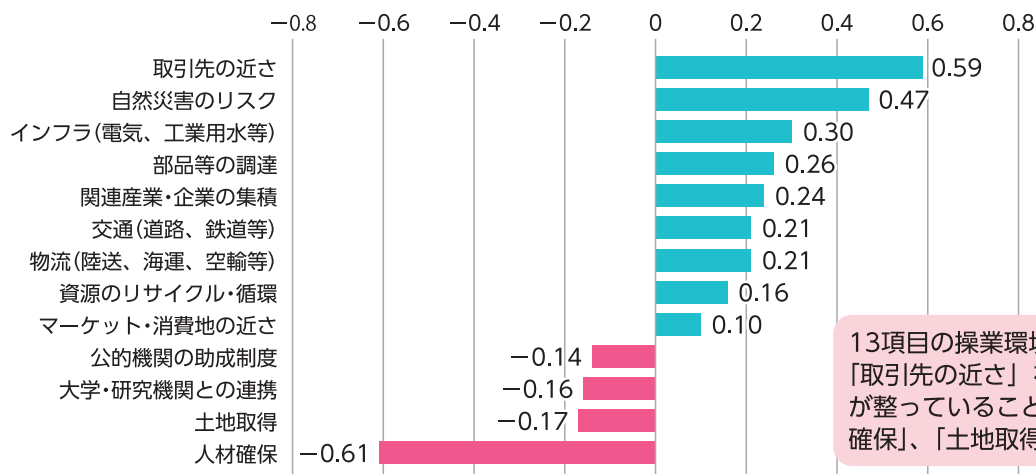
	事業所数	構成比
全 体	247	100.0%
1～ 20人	131	53.0%
21～ 50人	53	21.5%
51～100人	29	11.7%
101～300人	18	7.3%
301人	16	6.5%



ご協力いただいた方に厚くお礼申し上げます。今後も引き続き、ご協力いただけますよう、お願いいたします。

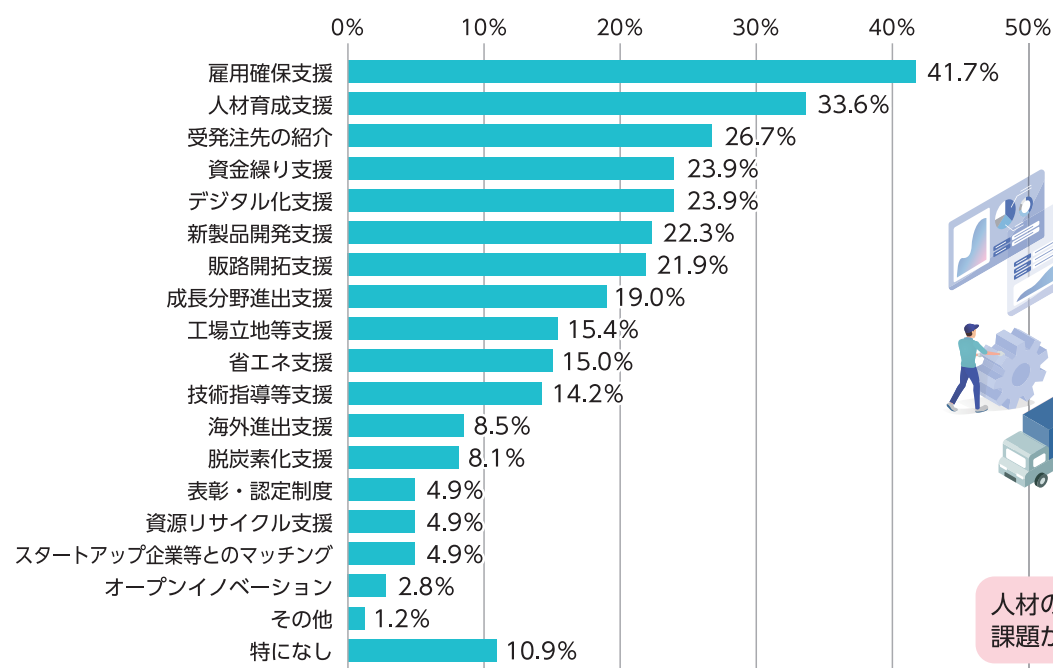
本調査に関するお問い合わせ先 姫路経済研究所 TEL 079-223-6555

1. 姫路市の操業環境に対する評価



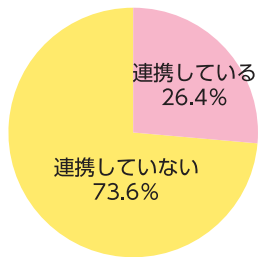
13項目の操業環境について評価いただいた。「取引先の近さ」をはじめ、サプライチェーンが整っていることがうかがえる。一方、「人材確保」、「土地取得」などが低い評価となった。

2. 人材確保(ものづくりに関する必要な支援策)

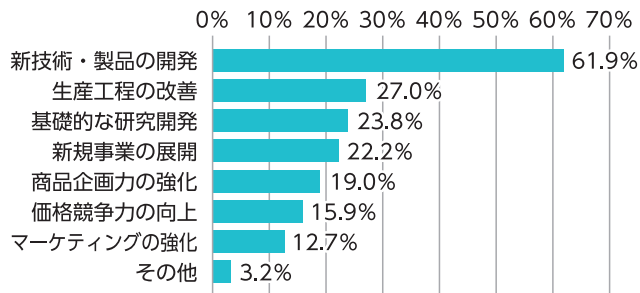


人材の不足・人材の確保に関わる課題が上位に挙がっていた。

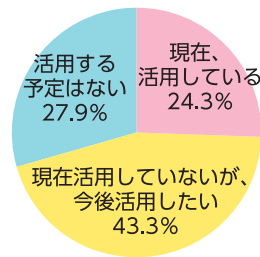
3. 外部との連携



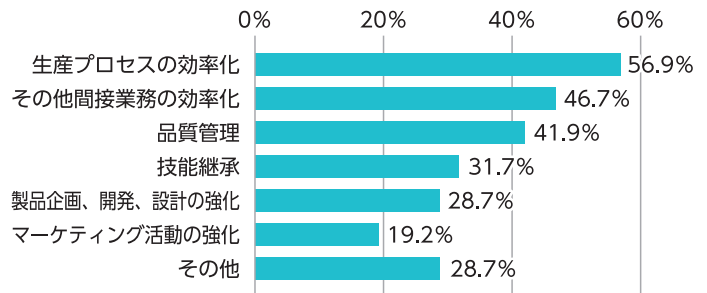
「連携している」割合は26.4%となっている。連携目的を見ると、「新技術・製品の開発」「生産工程の改善」「基礎的な研究開発」の回答が上位に挙がっている。



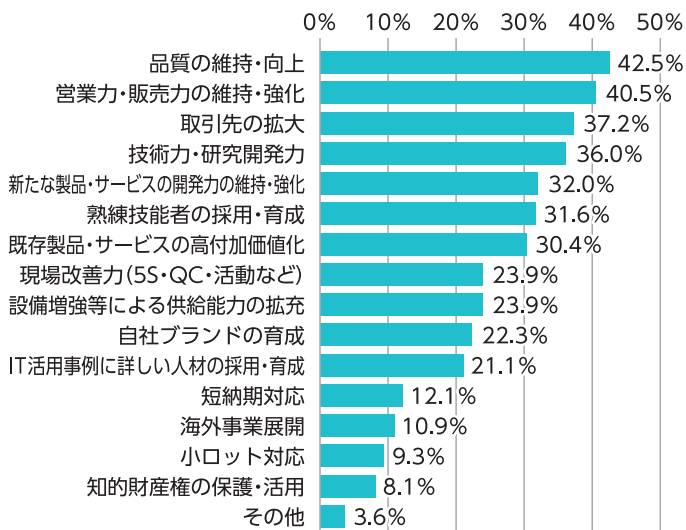
4. デジタル技術の活用



「活用している」が24.3%、「今後活用したい」が43.3%、「活用する予定はない」が27.9%となっている。活用目的を見ると、「生産プロセスの効率化」「間接業務の効率化」「品質管理」の回答が多くなっている。

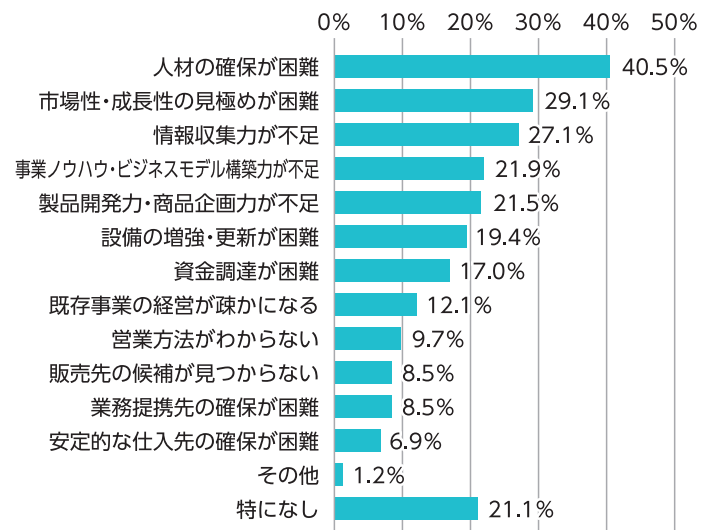


5. 事業活動における課題



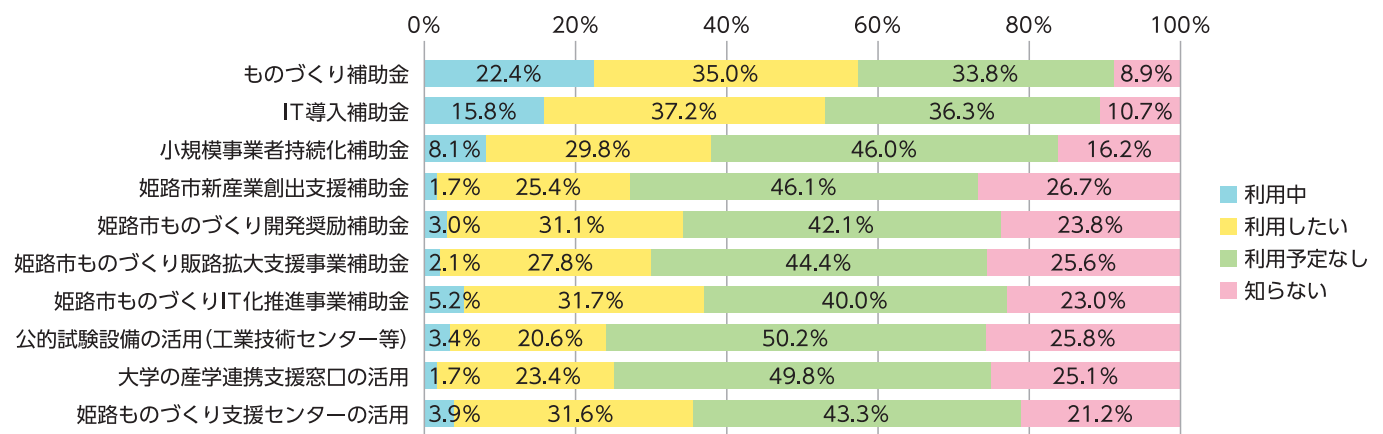
「品質の維持・向上」(42.5%)に続き、「営業力・販売力の維持・強化」(40.5%)、「取引先の拡大」(37.2%)などの販路開拓に関する課題感が上位となっている。

6. 新しい分野へ進出するにあたっての課題



「人材の確保が困難」(40.5%)に続き、「市場性・成長性が見極めが困難」(29.1%)、「情報収集力が不足」(27.1%)などの課題感が上位となっている。

7. 支援施策等の認知度



支援制度の利用状況に関する質問に対して、姫路市の支援制度は国の支援制度(ものづくり補助金やIT導入補助金等)と比べて利用度・認知度ともに低くなる結果となっている。